

## あいさつ

青木村

おはようございます。

本日、令和3年第3回青木村議会9月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆さまにご出席をいただき、誠にありがとうございます。

今世界は、一年余もの間未曾有の緊急事態にさらされており、未だ衰えぬ新型コロナウイルス感染症の拡大は、青木村に住む私たちの経済や生活にも大きな影響を及ぼしています。有効性や安全性が確立した治療法などの開発は、まだ見通しが立っておりません。国民の命を守るため奮闘いただいている医療従事者などの皆さんには、心から感謝申し上げます。

感染力が強いデルタ株が猛威を振るい、8月に入り全国の1日当たりの感染者数は連日2万人を超え、重症者数も最多を更新するなど災害時の状況とも言える局面が継続し、政府は「緊急事態宣言」の対象地域を8月25日に、13から21都道府県へと拡大しました。

【県内でも爆発的感染拡大が続き、青木村でも8月下旬に複数名の感染者が発生しました。医療提供体制の逼迫が懸念されることから、県は「医療非常事態宣言」を発出し、酒類を提供する飲食店への時短要請も行っております。また、全県の「特別警報Ⅱ」を延長するとともに、9月3日から12日までを「命と暮らしを救う集中対策期間」として対策を強化しています。】

コロナ患者急増の中、菅義偉首相が9月3日、急遽退陣を表明しました。

次の日本のリーダーには、政治への信頼回復を図ると共に、コロナ克服のための強力な体制の早急な構築を切望いたします。

村内のコロナワクチン接種状況につきましては、9月6日現在、15才以上の方にワクチン接種券を発送し、現在は青木診療所で接種業務を行っています。1回目の接種が済んだ方は、接種対象年齢12才以上のうち、81.2%となっております。引き続き12才以上の接種に向けて努めてまいります。

村民の皆さんには、これまで通り「三密」を避けるなど基本的な感染防止対策の徹底を行っていただくと共に、体調に異変を感じましたら通勤・通学などを控え、

速やかに医療機関に相談していただきますようお願いしているところであります。

コロナ禍で、例年賑わいを見せる夏まつりや産業祭、村民体育祭など、今年度も多くの行事、大会の開催が中止を余儀なくされ、そのような中で村民の皆さんが元気をなくしてしまうことが心配ですが、力を合わせてこの困難を克服してまいりたいと思います。

次に、令和3年度新型コロナウイルス対策に係る事業の進捗状況について、ご報告を申し上げます。

事業総額約1億500万円（財源 地方創生臨時交付金 9,564万円、県補助金320万円）で、今回補正予算をお願いしている2事業を加えて、全18事業に及ぶ事業について取り組みを行っています。

子育て教育福祉関係は、6事業5,060万円で【主なものとして、保・小・中学校の給食費の無料化やひとり親・離村学生・福祉医療受給者などに対して村独自の支援金の給付などを】実施しております。

また、商工業・農業・地域経済対策関係は、4事業3,018万円で【プレミアム地域消費券の発行、長和町・青木村の道の駅で利用できるプレミアム商品券の発行、中小事業者への相談業務の強化、コロナで影響を受けている農・商・工業事業者への村独自の支援金の給付などを】行っております。

生活環境・交通政策・新型コロナワクチン接種の円滑実施などに対して、6事業2,422万円の事業費で【新型コロナワクチン接種にあたり、個別接種をお願いしている診療所の改修工事、役場をはじめとした公共施設並びに公共施設に準ずる施設において安全に安心して利用していただけるように対策を】行っております。

村の新型コロナ対策は、支援が必要な方に対して「速やかに・平等に・きめ細やかに」を取り組みの基本的な考えとして、国・県の支援では行き届いていない部分を補うかたちで、村単独事業での取り組みも展開しております。

平年より3日、去年より16日早く、7月16日(金)に梅雨が明けました。

今年の夏は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、上空の寒気や湿った空気の影響で、午後からは雨や雷雨となった日が多くありました。

東京都に緊急事態宣言が出されるなど多くの人が危惧する中、原則無観客で、「東京オリンピック2020」が7月23日(金)から8月8日(日)まで開催されました。

新型コロナウイルス感染の拡大により、史上初めて1年延期されたオリンピックは、17日間で33競技339種目が開かれ、207の国・地域の選手約1万1300人が

参加しました。【日本は金27個、銀14個、銅17個、計58個と、史上最も多くのメダルを獲得しました。】

また、史上最も高温の中で開催されたオリンピックにもなり、選手の皆さんも安全管理を徹底しながらのパフォーマンスでした。

続けて「東京パラリンピック2020」が原則無観客の中、8月24日(木)から9月5日(日)まで開催されました。13日間にわたり22競技539種目が開かれ、161の国・地域の選手約4,400人が参加し、熱戦が繰り広げられました。【日本は金メダル13個を含む51個のメダルを獲得するなど、前回大会を大きく上回る成績を収め、大健闘でした。】

57年ぶりの東京でのオリンピックであり、参加した選手や運営に尽力した関係者の皆さんの努力を称えると同時に、名ばかりであった当初の「復興五輪」という理念、炎暑やパンデミックの中での開催のあり方など、考えるべきこと、学ぶべきことの多い大会であったと思います。

8月7日(土)、悪疫退散と祖先への鎮魂を祈願し、「地域を元気に～青木村花火大会」を開催しました。

昨年同様、コロナ禍のため規模を縮小して行いましたが、美しい花火の華やかな音と光が青木村の夜空を彩り、沈みがちな心に元気を与えてくれました。

ご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。

8月15日(日)は、約310万人もの尊い命が犠牲になった第二次世界大戦の76回目の終戦記念日でした。

菅総理大臣は式辞の中で「戦争の惨禍を二度と繰り返すことなく、世界の誰もが平和で心豊かに暮らせる世の中を実現してまいります。」と述べました。

【当時私は年少で、戦争の記憶はわずかしかなかったが、同級生の中にお父さんを失くされた方が4人もおり、平和の尊さを身に沁みて感じております。】戦後の混乱から経済成長を遂げた昭和の時代、戦争のない平和な平成の時代を経て、令和の時代も不戦の時代であってほしいとの強い願いを込め、黙祷をいたしました。

8月13日(金)から16日(月)のお盆は、連日各地で大雨に見舞われ、災害の発生等がありました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

弘法公民館の雨量計で累計215mm、最大時間雨量21mmとなるなど村内の雨量も増え、数件の土砂崩れがありました。緊急を要する箇所の災害復旧費の補正予算を今議会に計上しましたので、よろしく願いいたします。

【8月29日(日)、中部横断自動車道の山梨・静岡両県を結ぶ区間で、残っていた山梨県身延山付近13.2kmが完成し、全線で開通しました。

これにより、佐久市と静岡市の所要時間が270分から185分へと85分短縮され、新たな高速道路環状ネットワークが誕生しました。残りの八千穂高原ICと山梨県長坂IC間約40kmの整備促進が待たれるところです。】

9月5日(日)に青木村総合防災訓練を実施しました。

コロナ禍ということで規模を縮小して、緊急通信試験を実施しました。各避難所に設置されている災害時優先電話【特設公衆電話】の通話試験を各区長にお願いし、全地区で通信できることを確認しました。

さらに、今回初めて携帯電話の緊急速報メールの訓練配信を実施しました。青木村全域及び周辺地域において受信を確認することができ、避難指示発令の際などに活用していきます。

どのような媒体を使っても一斉に全ての住民の方に情報をお届けするのは難しいことですが、今回の訓練において、【特に青木村民は】受信した方が周りの方へ情報を伝えるという“人と人とのつながり”のちからが非常に大きいことを確認することができました。

緊急速報メールの受信状況調査に大勢の皆様の御協力を頂き厚く感謝申し上げます。

次に、村にとって念願でありました企業誘致について、東証一部上場企業の株式会社竹内製作所さんの受け皿となる岡石工業地整備事業は、村の土地開発公社が造成工事中であり、11月末の竣工を目指し順調に進捗しております。

竣工後は県による開発行為の検査を受けた後、竹内製作所さんへ引き渡す予定となっております。

【8月26(木)日公表の内閣府「月例経済白書」によりますと、8月の景気は「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。」とのことであります。】

【先の6月定例会閉会后本日までの主な行事の報告ですが、コロナ禍の中、多くの会議、行事が中止となりましたことから、特に申し上げることはございません。】

さて、本9月議会は決算議会でありますので、令和2年度の青木村決算状況について申し上げます。

### 令和2年度決算の概要

#### ○一般会計について

歳入総額	38億5,930万8,762円
歳出総額	36億6,084万7,463円
【歳入歳出差引額	1億9,846万1,299円】
【繰越明許費繰越額	2,823万9,000円】
実質収支	1億7,022万2,299円 の黒字となりました。

#### ○特別会計等について

【国民健康保険、別荘事業、介護保険、後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業、特定環境保全公共下水道事業について、】いずれも黒字決算となり健全な財政運営が行えました。

#### 一般会計

##### 主な歳入について

- ①村税は、前年度より440万円減の4億790万4千円
- ②地方交付税は、前年度より3,195万1千円増の15億5,271万5千円。歳入合計の構成比が40.2%となっており、依存財源として依然高い状況にあります。  
【普通交付税は14億3,452万6千円。算定項目の一つに新たに地域社会再生事業費が創設されたこと等から、前年度より5,917万6千円増】  
【特別交付税は1億1,817万2千円。前年度より2,721万7千円減】
- ③国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対策となる地方創生臨時交付金や特別定額給付事業により、前年度より6億4,618万6千円増の8億7,982万1千円でした。
- ④繰入金は、財政運営の安定化を図るため、財政調整基金を1億5,000万円取り崩しました。
- ⑤村債では、役場保健センターや老人センター、地区公民館が指定避難所であることから空調設備設置工事を行い、その費用に緊急防災減災事業債を充てたことから、前年度より8,663万円増の1億9,773万円。【そのうち臨時財政対策債は、前年度より200万円減の5,800万円です】

## 主な歳出について

①民生費【11億2,661万円 歳出構成割合の30.8%】は、新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付金事業等の増により、前年度より4億5,508万9千円の増

②総務費【10億4,737万6千円 歳出構成割合28.6%】は、地方創生臨時交付金事業での新型コロナウイルス感染症対策や財産管理費での役場庁舎空調設備設置工事、財政調整基金積立等により、前年度より3億5,680万2千円の増

③土木費【3億3,623万3千円で歳出構成割合9.2%】は、公営企業会計の移行に伴い下水道事業会計補助金や琴山川河川整備工事等により、前年度より1,494万9千円の増

【その他、主な事業内容については、決算付属資料をご覧ください。】

### ④積立金

財政調整基金を1億5,000万円取り崩しましたが、その後の財政状況により同額を年度末に積立てすることができました。【森林環境譲与税基金や情報通信関連事業基金については、今後の事業計画からそれぞれ積立てを行いました。五島慶太翁顕彰事業基金37万円はふるさと応援寄附者の申出によるものです】

## ○健全化判断比率および将来負担比率について

財政状況は、健全化判断比率【実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率】並びに公営企業の経営状況を判断する資金不足比率について、昨年度から0.2%増加し6.7%でした。赤字はなく、国が定めた早期健全化基準の基準内でした。財政状況及び公営企業の経営状況ともに健全な財政運営がされており、令和2年度全体として健全財政と判断できる決算とすることができました。

去る9月3日に内藤賢二代表監査委員、宮下壽章監査委員から、令和2年度青木村会計歳入歳出決算について意見書を頂きました。

この審査にあたりまして、監査委員には長い時間をかけ慎重な審査をいただきますとともに、適切な意見書をいただき誠にありがとうございました。

今後は、頂きましたご意見を職員共々真摯に受け止めさせていただき村民サービスと住民福祉の向上につながる財政運営に努めさせていただきます。

以上、提案しました議案のうち主な内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明いたしますので、ご審議

の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます。

議長から、コロナ禍の中簡潔な答弁および説明をと要請されており、そのようにさせていただきますので、ご了解をいただきたいと思います。

結びに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に、全ての村民の皆さんの引き続きのご理解とご協力を特にお願い申し上げ、開会のごあいさつとさせていただきます。